

福井県普通会計バランスシート

(平成18年3月31日現在)

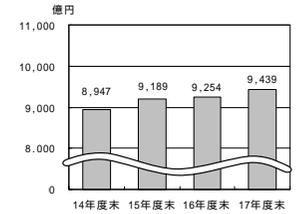
(単位:百万円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1) 総務費	66,543	(1) 地方債	723,811
(2) 民生費	23,386	(2) 債務負担行為	
(3) 衛生費	9,909	物件の購入等	0
(4) 労働費	3,274	債務保証又は損失補償	0
(5) 農林水産業費	396,233	債務負担行為計	0
(6) 商工費	42,516	(3) 退職給与引当金	160,010
(7) 土木費	1,193,185		
(8) 警察費	29,757	固定負債合計	883,821
(9) 教育費	194,245		
(10) その他	134	2. 流動負債	
計	1,959,182	(1) 翌年度償還予定額	60,050
(うち土地)	377,991	(2) 翌年度繰上充用金	0
有形固定資産合計	1,959,182	流動負債合計	60,050
		負債合計	943,871
2. 投資等			
(1) 投資及び出資金	54,151	[正味資産の部]	
(2) 貸付金	57,147	1. 国庫支出金	578,930
(3) 基金		2. 一般財源等	642,608
特定目的基金	26,720		
土地開発基金	6,738	正味資産合計	1,221,538
定額運用基金	10,840		
基金計	44,298	負債・正味資産合計	2,165,409
投資等合計	155,596		
3. 流動資産			
(1) 現金・預金			
財政調整基金	18,271		
県債管理基金	13,866		
歳計現金	7,533		
現金・預金計	39,670		
(2) 未収金			
地方税	8,213		
その他	2,748		
未収金計	10,961		
流動資産合計	50,631		
資産合計	2,165,409		

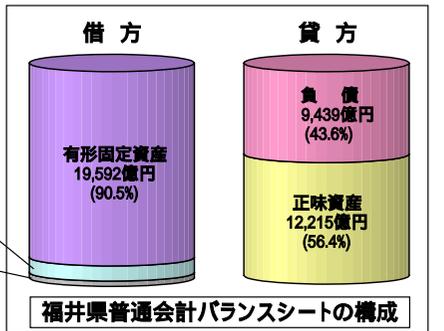
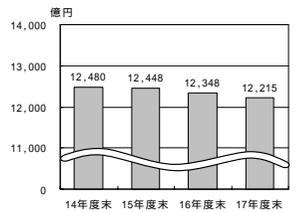
債務負担行為に係る補償等 物件の購入等に係るもの 10,145 百万円
 債務保証及び損失補償に係るもの 169,094 百万円
 利子補給等に係るもの 1,130 百万円
 翌年度償還予定額を含めた地方債残高783,861百万円のうち財源措置のあるもの 520,916 百万円
 (地方債残高とは、固定負債の地方債と流動負債の翌年度償還予定額との合計額)

貸方の上段()書きは、平成13年度以降に交付税の不足分として発行された臨時財政対策債を負債から正味資産に振り替えた場合の数値。

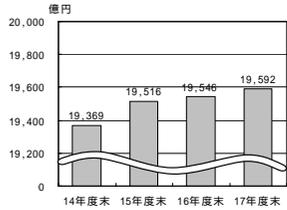
【負債】
 負債とは、資産形成のために発生した債務のうち、将来返済しなければならないもので、県債(地方債)残高と退職給与引当金を計上しています。退職給与引当金は、年度末に県の全職員が退職したと仮定した場合の退職手当の支払い見込額です。県債残高は、翌年度に償還が予定されている額を流動負債に計上し、それ以外を固定負債に計上しています。平成17年度は、平成13年度から地方交付税の不足分として発行している臨時財政対策債の影響により負債残高は増加しています。



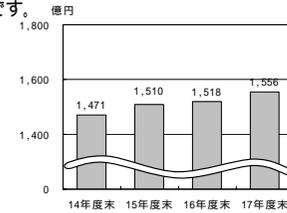
【正味資産】
 正味資産とは、これまでの世代によって形成された資産で、将来返済の必要がないものです。バランスシートには、国庫支出金(国から県に交付された補助金など)と県税など県固有の財源である一般財源とに区分して計上しています。近年では、資産の伸びに比べ、負債が増加していることにより、減少しています。



【有形固定資産】
 有形固定資産とは、道路、河川、港湾、学校、庁舎など行政サービスを提供するための有形の資産です。取得額から耐用年数に応じて定額法により減価償却した金額を計上しています。公共事業の抑制などにより、有形固定資産の伸びは小さくなっています。



【投資等】
 投資等には、公益法人や企業会計などへの出資・投資金、産業振興のための貸付金、公共施設の整備や地域振興など特定の目的のために積み立てられている基金(特定目的基金)などの残高を計上しています。平成17年度の増加は、主に病院、水道事業への投資額および特定目的基金残高の増加によるものです。



【流動資産】
 流動資産には、年度間の財源調整のために使われる財政調整基金や県債の償還に使われる県債管理基金の残高、形式収支(その年度の歳入と歳出の差額)に相当する歳計現金、県税の未収金などを計上しています。平成17年度は、基金および歳計現金残高の減少により流動資産が減少しています。

